

IM へのお誘い

第3グループ ガバナー補佐 新井智代

アーカス湘南 RC の皆さま、こんにちは。

第3グループの 2024 - 25 年度 ガバナー補佐を務めております藤沢南 RC の新井智代です。本年度の第3グループ10クラブ合同事業「おいもdeサンタ」の実施におきましては、アーカス湘南 RC 様より 215 キロものお米の提供をいただきまして、誠にありがとうございました。700 人以上に及ぶ子供食堂来訪者への奉仕活動に繋がり、第3グループとして地域社会へ貢献することができましたこと、改めまして心から御礼申し上げます。

本日は来たる 3 月 15 日（土）に藤沢市商工会議所ミナパークで行われます、国際ロータリー第 2780 地区第3グループの IM（Intercity Meeting）のご案内に伺わせていただきました。

本年度はふじさわ湘南 RC 様に主幹いただき元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏を講演者にお招きして開催いたします。

廣瀬さんは現役引退後藤沢へお住まいを移され、株式会社 HIRAKU を設立、鎌倉では発酵食品を取り入れたカフェを OPEN されるなど多角度でご活躍していらっしゃいます。

なぜラグビー？と思われる方もいらっしゃるかも知れませんが、2019年ラグビーW杯で日本代表の躍進とともに、スローガンの「ONE TEAM」が流行語になりました。7 カ国 15 人の外国出身選手を擁するなど多様なバックグラウンドを持つ選手がひとつのチームになって戦うラグビー日本代表の文化として、多くの人に共感を持って迎えられたのです。ラグビーは体格の違う選手、力が強い、足が速いといった様々な特性をもった選手がひとつのチームで活躍できるスポーツです。出身国や人種、言葉や文化が異なる選手が同じチームで活躍しています。

DEI を推進するロータリーにとって「多様な人々」が活躍するラグビーの世界観から学べることは多いのではないのでしょうか？第3グループではアーカス湘南 RC 様のよう、古いロータリークラブの形にとらわれない新しい存在感を発揮するクラブが続々と誕生しています。それぞれのクラブが個人の多様性を認め合い「ONE TEAM」で強い組織づくりができますように、また、グループ内でも各クラブがお互いの多様性を尊重しあうことでそれぞれの成長につながりますように。。。

ドナルド・トランプ大統領によってアメリカ合衆国では DEI を否定する時代が幕あけしたようですが、ロータリーが求める真の多様性は何なのかを改めて見つめる 1 日にしたいと思います。

会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。